

岡本太郎 (1911-1996)

1911(明治44)年、神奈川県川崎市に、人気漫画家の岡本一平と、歌人で小説家のかの子の長男として生まれる。東京美術学校に入学後半年で退学、父母の渡欧に同行して、1930(昭和5)年から10年間パリに滞在。当時の最先端の芸術動向や思想に触れ、「アブストラクション・クレアション(抽象・創造)」などの運動に参加する一方、パリ大学で哲学や民族学を学び、ジョルジュ・バタイユらと親交を深める。1940年の帰国後、兵役、復員を経て、戦後は旺盛な創作活動を再開。前衛芸術の旗手として話題作を発表する一方、縄文文化の再評価をはじめとする民族学的視点に基づく発信や、大衆に向けたパブリック・アートやプロダクトの制作など、多岐にわたる活動が続ける。1970年の大阪万博テーマ館のプロデュースでは、シンボルである《太陽の塔》とともに国民的な人気を博し、「芸術は爆発だ!」などの流行語とともに、晩年に至るまでメディアに頻繁に登場するようになる。生涯にわたり旺盛な文筆活動も続け、その生き方や思想も、作品とともに次世代に影響を与え続けている。

◎観覧料(税込)

一般 1,900円、大学生・専門学校生 1,300円、65歳以上 1,400円、高校生以下無料(日時指定予約必要)

日時指定予約制

※未就学児は日時指定予約不要。

※身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添の方(1名まで)は無料(日時指定予約不要)。

※高校生、大学生・専門学校生、65歳以上の方、各種お手帳をお持ちの方は、証明できるものをご提示ください。

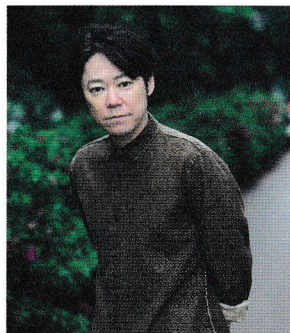
※オンライン・プレイガイドでの購入・予約が難しい方を対象に当日の入場枠を設けておりますが、ご来場時に予定枚数が終了している場合があります。

※チケット発売日など詳細は、決定次第、展覧会公式サイトに掲載します。

◎音声ガイド

俳優の阿部サダヲさんが、ナビゲーターに初挑戦!

人間・岡本太郎とは何者か… 画家の言葉を交えながら、その真の姿に迫ります。



この度、展覧会 岡本太郎の音声ガイドナビゲーターを務めさせて頂くことになりました、阿部サダヲです!「音声ガイドナビゲーター」というお仕事は初めてですが、誰もが知っているあの「太陽の塔」が建ったのが、1970年。私が生まれたのも1970年! 同い年! ライバル! やらせていただこうかなと… 資料を頂くと、知らない事もたくさんありました。その知らなかった岡本太郎を皆さまに分かりやすくお伝え出来るよう頑張ります! よろしくお祈りします。

●会場レンタル版
1台600円(税込)

●アプリ配信版
配信料金730円(税込)
※会場限定トラック等をすべて含む
完全版、配信期間限定

◎アクセス

〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36

○JR上野駅「公園口」より徒歩7分

○東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅「7番出口」より徒歩10分

○京成電鉄京成上野駅より徒歩10分

※駐車場はありませんので、車での来館はご注意ください。

Venue: Tokyo Metropolitan Art Museum (Tokyo, Ueno-Park)

Dates: October 18 (Tue) - December 28 (Wed), 2022

Closed: Mondays

Hours: 9:30-17:30 (Until 20:00 on Friday) *Final admission 30 minutes before closing

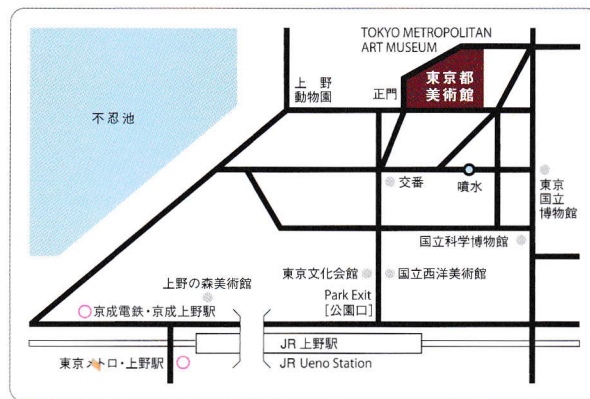
Admission: General ¥1,900, College students ¥1,300, Seniors 65+ ¥1,400

High school students and younger Free

*Advance reservation via online is necessary. Please check the official website before your visit.

※土・日曜日、祝日及び会期末は混雑が予想されますので、平日または会期前半のご予約・ご来場をお勧めします。

※新型コロナウイルス感染症拡大予防の取組みについては、東京都美術館HPをご確認ください。



東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

[表紙:カラー図版]/《太陽の塔》1970年 万博記念公園、《にらめっこ》1978年、《明日の神話》1968年、《若い太陽の塔》1969年、《訣別》1973年、《遊魂》1988年 すべて部分

[裏:背景図版]/《未来を見た》1971年、《夜》1947年、《まひるの顔》1948年、《空間》1934/54年 すべて部分

記載のないものは川崎市岡本太郎美術館蔵/岡本太郎ポートレートおよびすべての作品 ©岡本太郎記念現代芸術振興財団



NHK番組「TAROMAN 岡本太郎式特撮活劇」

「真剣に、命がけて遊べ」など、今に響く岡本太郎の言葉が主役の特撮番組。シュールでたらめな(TAROMAN)。対する奇獣たちは、〈疾走する眼〉〈駄々っ子〉など太郎作品を造形化。「なんだ、これは!」と誰もが驚く5分番組シリーズ。全10話、随時放送中。

NHK

